

石膏ボード枚数の早見表

壁1周の枚数（開口部は引かず、ロス率0%）。左の数字が割付（ボードを縦に張り、上の段の切れ端は1枚から取れる分だけ使い回す）、右の小さい数字が面積で割った枚数です。部屋の寸法は壁芯の目安です。

天井高 2,400mm

部屋（壁芯 mm）	3×6（910×1820）	3×8（910×2420）	3×9（910×2730）
4.5畳（2,730×2,730）	16／16	12／12	12／11
6畳（3,640×2,730）	19／19	14／14	14／13
8畳（3,640×3,640）	22／22	16／16	16／15
10畳（4,550×3,640）	24／24	18／18	18／16
12畳（5,460×3,640）	27／27	20／20	20／18

天井高 2,450mm

部屋（壁芯 mm）	3×6（910×1820）	3×8（910×2420）	3×9（910×2730）
4.5畳（2,730×2,730）	18／17	13／13	12／11
6畳（3,640×2,730）	21／19	15／15	14／13
8畳（3,640×3,640）	24／22	17／17	16／15
10畳（4,550×3,640）	27／25	19／19	18／17
12畳（5,460×3,640）	30／27	21／21	20／18

天井高 2,500mm

部屋（壁芯 mm）	3×6（910×1820）	3×8（910×2420）	3×9（910×2730）
4.5畳（2,730×2,730）	18／17	13／13	12／11
6畳（3,640×2,730）	21／20	15／15	14／13
8畳（3,640×3,640）	24／22	17／17	16／15
10畳（4,550×3,640）	27／25	19／19	18／17
12畳（5,460×3,640）	30／28	21／21	20／19

天井高 2,600mm

部屋（壁芯 mm）	3×6（910×1820）	3×8（910×2420）	3×9（910×2730）
4.5畳（2,730×2,730）	18／18	13／13	12／12
6畳（3,640×2,730）	21／20	16／16	14／14
8畳（3,640×3,640）	24／23	18／18	16／16
10畳（4,550×3,640）	27／26	20／20	18／18
12畳（5,460×3,640）	30／29	22／22	20／20

天井の枚数

ボードの向きを2通り試して少ない方（割付）／面積で割った枚数。ロス率0%。

部屋	天井の面積	3×6（910×1820）	3×3（910×910）
4.5畳	7.45㎡	5／5	9／9
6畳	9.94㎡	6／6	12／12
8畳	13.25㎡	8／8	16／16
10畳	16.56㎡	10／10	20／20
12畳	19.87㎡	12／12	24／24

開口部の差し引き（目安）

開口部	大きさ（mm）	面積	割付で引ける枚数（3×6）
掃き出し窓	1,690×2,030	3.43㎡	1枚（幅1枚分×高さ1段分）
腰窓	1,690×1,170	1.98㎡	0枚（高さが1段に満たない）
片開きドア	780×2,000	1.56㎡	0枚（幅が1枚に満たない）
引き戸	1,640×2,000	3.28㎡	1枚

窓・ドアの大きさは一般的な目安です。図面の建具表で確かめてください。

計算の式

面積で：（周りの長さ × 天井高 - 開口部の面積） × （1 + ロス率） ÷ ボード1枚の面積 → 切り上げ

割付で：列の数 = 各壁の長さ ÷ ボードの幅（切り上げ）の合計。天井高がボードより高いときは、上の段の切れ端を1枚から取れる本数で割って足す

例：6畳・天井高2,400・3×6 → 14列。上の580mmは1枚（1,820mm）から3本取れるので $14 \div 3 = 4.67 \rightarrow 5$ 枚。合計19枚。

早見表は目安です。継ぎ目・張り方向・下地の位置・切れ端の使い方、実際の枚数は変わります。サイジンでは、部屋と窓・ドアを選ぶだけで、この2つの数え方の枚数がすぐ出ます。

ロス率の考え方

- 決まった数字はなく、部屋の形・開口部の多さ・張り方・切れ端の使い回して変わる
- 前の現場で余った枚数・足りなかった枚数から、自分のロス率を決めておく
- 割付で数えた枚数は切れ端を考えた数なので、さらに大きなロス率を足すと頼みすぎになりやすい